

兵庫大学短期大学部 卒業生あいさつ

桃の節句も過ぎ、日ごとに春を感じさせる今日の佳き日に、卒業の日を迎えることができました。本日は私たちの為に、このような厳粛な式を挙げて頂き、卒業生一同、心より御礼申し上げます。

この二年間を振り返ると、私たちはこの兵庫大学短期大学部で、非常に濃密で実りの多い日々を過ごしました。先生方のご指導を受け、友人と多くの時間を共有した日々は、かけがえのないものです。卒業を前に、私たち一人ひとりの胸には、さまざまな想いが去来していることでしょう。私はこの場をお借りしてこの二年間でお世話になった方々に感謝を述べたいと思います。

まずは、私の友人たちです。入学して不安でいっぱいでしたが、個性豊かな仲間たちと出会い、共に切磋琢磨しながら楽しく学ぶことができました。同じ目標に向かって学ぶ仲間がいる心強さを感じました。新型コロナウイルスの影響で、この一年間はなかなか会えない日が続き挫けそうになった時もありましたが、オンライン授業でのグループトークや久しぶりの対面授業でいつもと変わらない友人たちと話すと、元気を貰い、自分を鼓舞することができました。

また、先生方には感謝にたえません。入学当初は人前で話すことが苦手だった私ですが、授業の中で、みんなの前で手遊びをしたり、話す機会をたくさん与えて下さったことで、少しずつですが、話すことにも慣れ、自分の考えを発言することができるようになりました。保育実習、幼稚園実習、施設実習とたくさんの実習に行かせていただきましたが、実習の前は不安でいっぱいでした。しかし、先生方が、保育の知識や指導案の添削など、事前指導をしっかりとしてくださったおかげで、自信を持って実習に臨むことができました。実りの多い実習になったのは、ひとえに先生方のご指導のおかげだと感じています。就職活動の際には、不安や焦燥感に襲われる時もありました。しかし、共に頑張る友人の姿を見たり、多くの学科の先生方や職員の皆様がサポートしてくださったおかげで、保育者という夢を叶えることができ、これからは子どもたちのために一生懸命働きたいと思います。

最後は私の両親です。保育者になりたいという私の夢を応援し、兵庫大学短期大学部に通わせてくれました。どんな選択をしても味方でいてくれ、支えてくれた両親のおかげで、私は今ここに立っています。多くの心配をかけながらも、最後まで私のことを考えて、育ててくれた両親には、感謝の気持ちでいっぱいです。

この場所で出会った仲間とは離れ離れになりますが、この学生生活で得たことを生かして、それぞれの場所で自分らしく輝きましょう。

最後になりましたが、私たちが無事大学生活を送ってこられたのは、諸先生方、友人、いつもどんな時も支えてくれた家族のお陰で、今日という日を迎えることができました。ここに御臨席下さいました方々は元より、すべての皆様に、卒業生一同より御礼申し上げます。まだまだ未熟な私たちでございますので、今後とも、ご指導ご鞭撻を頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。兵庫大学短期大学部の限りない発展を念じつつ、簡単ではございますが、卒業生一同を代表いたしまして、御礼の言葉とさせていただきます。

令和三年三月二十三日

卒業生代表

短期大学部 保育科第一部 藤井 菜緒

